

令和7年度 第75回北海道高等学校柔道大会十勝支部大会要項

主 催 高体連十勝支部

後 援 十勝柔道連盟

当 番 校 幕別清陵高等学校

1 期 日 令和7年5月17日（土）

8:00～	開門・準備
8:40～ 9:00	体重計測
9:00～ 9:20	監督会議・審判打ち合わせ
9:30～	開会式
9:45～	団体戦試合開始
	個人戦試合開始
15:30～	閉会式（予定）

2 会 場 音更町総合体育館・武道館

〒080-0330 河東郡音更町雄飛ヶ丘3番地 電話：0155-42-5577

3 競技規則

（1）国際柔道連盟試合審判規定による。

（2）「優勢勝ち」の判定基準

ア 団体試合は、「有効」または「僅差」（指導差2）以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

イ 個人試合は、「有効」または「僅差」（指導差2）以上とする。試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

（3）試合時間

ア 団体試合は、すべて3分間とする。代表戦の延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

イ 個人試合は、男女ともすべて3分間とする。但し、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

（4）絞め技及び関節技においては、その効果が認められたときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。

4 競技方法

（1）団体試合

ア トーナメント方式により行う。但し、参加校数によっては、試合方式を専門部で審査し決定する。

イ 試合の勝敗の決定は次による。

① 判定基準

選手対選手それぞれの試合の勝敗は「有効」または「僅差」以上とする。

※「僅差」は指導差2とする。

② 技の内容と「指導」の重み

※【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。

③ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定

以下の項目に従って勝敗を決定する。

（ア）勝ち数の多いチームを勝ちとする。

（イ）（ア）で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

※ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

（ウ）（イ）で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

（エ）（ウ）で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

（オ）（エ）で同等の場合は代表戦を行う。

※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

(カ) 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。

延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

このことは、1回戦から決勝までの全ての試合に適用する。

※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」（指導差2）以上とする。ただし、勝敗が決しない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。延長戦の判定基準、実施方法は個人試合に準ずる。

(2) 個人試合

ア 体重別によるトーナメント方式により行う。但し、階級毎の参加人数によっては、試合方式を専門部で審査し決定する。

イ 男子個人戦は次の7階級とし、時間内に計量にパスしない者は出場を認めない。

60kg級 (60kg以下の者)

66kg級 (60kgを超え、66kg以下の者)

73kg級 (66kgを超え、73kg以下の者)

81kg級 (73kgを超え、81kg以下の者)

90kg級 (81kgを超え、90kg以下の者)

100kg級 (90kgを超え、100kg以下の者)

100kg超級 (100kgを超える者)

ウ 女子の試合方法については、専門部で審議し、決定する。

エ 女子については当日計量を行わない。

5 参加資格

(1) 高体連加盟校の生徒であって、平成18年4月2日以降に生まれた者であること。

ただし、同一学年での出場は1回限りとする。

(2) 令和7年4月以降当該学校に在籍の者であること。

ただし、転校生については、転入後6ヶ月未満の者は出場できない。一家転住等やむを得ない場合は、高体連十勝支部長の許可があればこの限りではない。

(3) 全日制・定時制の混成チームは認めない。

(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者または加入の意志のある者。

(5) 引率者は当該学校の教員。監督は当該学校長の認めた教職員とする。

(6) 脳しんとう対応として、選手およびその指導者は次の事項を遵守すること。

ア 大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること）。

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

6 チーム編成

(1) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制過程の生徒による混成は認めない。

(2) 男子団体試合 監督1名、登録選手6名、の合計7名をもって編成する。

7 組合せ方法

(1) 組合せ抽選会 5月12日（月）14時より、幕別清陵高等学校 1階 多目的室にて行う。

(2) 団体試合 春季大会（4/26実施）の上位4校をシード校とする。

(3) 個人試合 春季大会（4/26実施）の上位4人（3位まで）をシード選手とする。

8 参加申込

(1) 方法 幕別清陵高校ホームページの2025高体連柔道当番校より関係書類をダウンロードし、Excelデータ「参加申込書」の「入力シート」に必要事項を入力し、次のア、イの要領で送付する。

ア シート「申込書」を印刷後、公印を押印したものを監督者会議の席上で提出する。

イ アで作成したデータ「参加申込書」をメールに添付して大会事務局へ送付する。

(ファイル名は学校名に変更)

(2) 申込先 〒089-0571 中川郡幕別町依田101番1 幕別清陵高等学校
高体連柔道当番校事務局 担当 西山修一
TEL 0155-55-6502

[メール送付先] syu-nishi@hokkaido-c.ed.jp

(3) 申込締切 5月8日(木)15時までに電子メールで当番校へ送信する。期日までに申込書の送信・提出がない場合は出場を認めない。

9 参 加 料

- (1) 団体試合出場校・・・チーム5,000円
 - (2) 個人試合出場・・・選手1名につき500円(団体戦出場においても納入すること)
 - (3) 全国高体連柔道負担金・・・選手1名につき500円
 - (4) 全国高体連柔道専門部研究調査報告・・・1校につき1,000円
- ※上記金額は、全て監督者会議の席上で納入すること。

10 連絡事項 (1) 団体試合のオーダー用紙提出と選手変更届の提出

- ア 団体試合オーダー用紙及び選手変更届(参加申込後に変更が生じた場合)は、所定の様式(当該学校長の出場認知書)により、大会当日監督審判会議開始までに専門委員長へ提出する。用紙は封筒に入れること。
- イ 提出されたオーダー用紙・選手変更届は、全てが揃い次第開封する。
- ウ 団体試合のオーダー用紙提出後は、配列の変更は認めない。
団体試合者が5名に満たない場合は、後ろ詰めとする。(先鋒、次鋒を空ける。)
- エ 参加申込後の選手変更は男女とも1名を限度とする(選手変更により新たに登録した選手は補欠に入れること)。但し、感染症や天災等による場合はこれを適用しない。
- オ 競技開始後に選手変更の必要が生じた場合は、選手変更届を本部記録係に提出し承諾を得ること。
- カ その他、特別な理由がある場合は、監督会議において審議する。

11 注 意 事 項

- (1) 試合開始後に選手変更が生じた場合には、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記録に提出し、承認を得て交代すること。
- (2) 競技中の傷害・疾病などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。
- (3) その他不明な点については、監督者会議において審議する。
- (4) 試合に使用する紅白の帯は各学校で用意すること。
- (5) 会場の設営及び後片付けは出場選手で行うため、可能な限り協力すること。
- (6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

11 監督者会議 5月12日(月)14:00 幕別清陵高等学校 1階 多目的室